

## A1 ダクト端部のハンドルを移動します

# A2 [加工]タブ-[定尺の編集]を使用します

ダクトを作図後、任意の位置にフランジを追加する方法を紹介します。



ダクト端部に表示される位置変更ハンドルをクリックし、フランジを追加したい位置に動かします。





#### ●補足説明

定尺よりも短い長さのダクトが隣にある場合はフランジの位置が移動します。 フランジを追加する場合は「A2」の方法で追加してください。 定尺は[ダクト]タブ-[材料の設定]で材料サブセットごとに設定されています。 ダクトの定尺の編集については、FAQ「ダクトの定尺を変更したい」をご確認ください。



## ▼A2 [加工]タブ-[定尺の編集]を使用します

[加工]タブ-[定尺の編集]をクリックします。 1 魡 ホーム 図形 機器器具 スリープ・インサート ツール 加工 表示 アドイン 配管 ダクト 電気 建築 一一覧 ──一覧 İ 🛄 一覧 KA-1 • SA-1 SA-1 ₽ × 🚝 番号記入 🚢 番号記入 📇 番号記入 定尺の編集 ナンバリング 🤷 情報開り除 定尺の編集 ナンバリング 📴 情報開り除 ナンバリング パッキン 加工集計 ユニット図 単品図 加工図 📑 情報削除 配管加工 角以クト加工 スパイラルダクト加工

作図方法は[手動割り]、作図設定は長さ「1000 mm」と入力します。 2 ೨ ホーム 図形 配管 ダクト 電気 機器器具 スリーブ・インサート 建築 ツール 加工 表示 アドイン <u>工</u> 定尺の編集 長さ 1000 mm ● 用途の設定に基づいてパッキンを入れる ₹. 4 -₽-<u>80.</u> 90. ...... . □ 反対側を基準にする ○ 指定した厚みでパッキンを入れる 3mm 手動割り 定尺割り 長ざ変更 結合 リセット 確認 実長で分割
 芯々で分割 ○ パッキンを入れない 🙆 設定 🛛 🕜 作図設定 パッキンの間 作図方法

## ●補足説明

同じ長さで分割して複数フランジを追加する場合、続けてダクトを選択することができます。

🖭 ホーム	図形	配管	ダクト	電気	機器器具	スリーフ・インサート	建築	ツー	π :	加工	表示	アドイン		定尺の編	集			
定尺割り	 手動	割り	長さ変	e 更	 結合	リセット	<b>些 4</b> 2		長さ □ 反 ● 実:	500 対側を 長で分割	)mm 基準にする 割 〇 え	る ちゃで分割	) () ()	用途の誘 指定した パッキンを	定に基づい 厚みでパッ <sup>3</sup> E入れない	いてパッジ Fンを入	Fンを入れる れる 3mm	0
作図方法								作図設定				パッキンの設定						
								N										
1,740 mm		500 mm	1,24	40 mm		1,740 mm			>		1,740 m	m	500 mi	n 500 mm	740 mm		1,740 mm	
			R	<u> </u>	·		-	$\overline{}$					,					
			給 部 1FL し (Sp	気ダクト 5 合鉄板 +0 1,24 ヤー:給き ace=)次修	00×400 0mm 気 実補, Ctrl+Spa	ce=前候補)												



#### ●補足説明

設定した長さで分割する基準位置は作図方向で決まります。反対側を基準にする場合は、[反対側を基準にする]にチェックを入れます。



### ●補足説明

[ダクト]タブー[部材]より、[ダクト部材の配置]ダイアログの[角ダクト部材]タブー[短管]でダクトに短管を挿入できます。 短管とダクトの接続位置にはフランジが表示されます。

ダクト部材の配置		×
🔲 角ダクト部材 🔄 分岐 💷 ダン	パー 🔞 ボックス・チャンバー 👄 制気口 📿 スパイラルダクト部材	💷 円形ダクト部材 🚽 換気用配管部材 🧷 ダンボー・・
直管	<ul> <li>配置方法</li> <li>● 単体 ○ 接続</li> </ul>	
短管	<ul> <li>●種類</li> <li>フランジ 外フランジ ✓</li> </ul>	h
Глиж	W(幅) 500 ~	W
エルボ(角度付き)	H(厚み) 400 ~ L(長さ) 400 ~	
S管	□ 板厚1.6mmを使用する	
**ンバス		
角丸キャンバス		
▶ 2 2 巻き		
<b>」</b> 「別定		OK ++>>セル
_ ^_	4 4	
	短管のフランジの位置は短管 長押しすると表示されるハンド	を選択後、Shift キーを ルで調整できます。
		1